

# 学研労協 NEWS ニュース

## 第47回学研労協代表者会議メッセージ



日本国家公務員労働組合連合会  
中央執行委員長 浅野 龍一 様

筑波研究学園都市研究機関労働組合協議会第47回代表者会議の開催おめでとうございます。

日頃のご奮闘に敬意を表します。あわせて、国公労連に対する日頃のご支援・ご協力に、心より感謝を申し上げます。

物価高騰の悪影響が国民生活に重くのしかかる中でたたかわれた24春闘では、26年ぶりとなる賃上げ幅となりました。この背景には、多くの労働組合がストライキを構え、あるいは決行してたたかった成果です。国公労連もストライキ支援や各種行動に参加し、官民一体でとりくんだことが、様々な要求前進につながりました。

そのような情勢のもと、今年的人事院勧告は32年ぶりに2%を超える改定率となり、若年層の改善に重点は置かれたものの、すべての職員を対象に俸給表の引上げを勝ち取ったことは、官民一体でたたかった運動の成果です。

国の職場では、政府がすすめる定員合理化政策により、行政体制を弱体化させたばかりでなく、国公労連加盟組合の組織拡大にも大きな影響を及ぼしてきました。しかし、2025年度から始まる定員管理政策の一部見直しや、期間業務職員（非常勤職員）の「3年公募要件」を撤廃させたことは、当事者をはじめ労働組合に結集する仲間や連帯する労働組合の奮闘がこの大きな成果につながりました。

国公労連は第70回定期大会を8月末に開催し、2024年度のたたかう方針を確立しました。大会では、労働組合が組合員に寄り添うケアの感性をいかし、全員参加型の運動を通じて組織を強く大きくし、ジェンダー平等を意識した多様性を認め合う組織になるよう奮闘していくことを確認しました。引き続き、「二つの責任と一つの任務」を常に意識しながら、誰もが個人として尊重され、人間らしく安心して暮らすことができる平和な社会の実現のため、広範な市民と共同し、全国の職場と地域からおおいに奮闘する所存です。

学研労協第47回代表者会議で、労働条件や研究環境の改善をめざし、活発な討論で団結を強め、たたかう方針と体制を確立し、代表者会議が成功することを祈念しますとともに、国公労連も共にたたかう決意を申し上げ連帯のメッセージといたします。ともに頑張りましょう。

2024年10月24日

2024年10月24日〔No.73〕

筑波研究学園都市研究機関労働組合協議会（学研労協）<http://gkn-rkyo.sakura.ne.jp/>

# 学研労協 NEWS ニュース

## 第47回学研労協代表者会議メッセージ



弁護士法人茨城の大地

代表 弁護士 戸張 順平 様

日本労働弁護団常任幹事

弁護士 飯塚 皓 様

弁護士 清水 壮一 様

この度は、第47回代表者会議の開催、誠にありがとうございます。

引き続き、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢、多発する自然災害の影響により、世界中のさまざまな場所で混乱が生じている事態が続いております。

世界は今、大きな転換期を迎えています。ここ数年の大国の対立や自国優先主義などにより世界情勢は不安定さを増しています。新型コロナウイルスによる経済・社会への打撃のみならず、貧困や環境問題、自然災害など深刻な課題が山積している状況にあります。その中でも、近年の物価高の影響や増税等の悪政による生活苦は一般市民・労働者にとって大きな問題となっております。10月27日に衆院選が行われますが、これまでの概念や価値観が一変し、経済や社会、そして私たちの暮らし方、働き方が大きく変わろうとしている中、労働組合は「人」を中心に据えて、新たな生活様式、雇用の維持、多様な働き方の環境整備、一番の課題である賃上げなど、安心して暮らし、働ける社会の構築に向けた取り組みを一層強化していく社会が実現できるよう、我々有権者は行動し、民意を示していく必要があります。

コロナ禍が収まり、対面でのコミュニケーションの機会が復活し、その重要性を再確認する一方、オンラインシステムを活用するなどコミュニケーションの選択肢が増え、利便性や機動性が高まりました。各組合相互における交流、組合員の皆さん同士の接点をより強化し、時代の転換期を乗り越えていきたいと考えています。

弊弁護士法人についても、直接・間接問わず、皆様と情報共有と議論を緊密に連携し、労働環境への変化に対する法的観点からの支援をさせていただきたく思います。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

2024年10月16日